

令和4年度事業計画

令和4年3月5日

社会福祉法人 喜入保育園

1 はじめに

(1) 「コロナ禍」下での保育

前年度に引き続き、新型コロナウイルスの流行の中で、保育事業を実施しなければならない。残念ながら、前年度2月に感染者(陽性者:2名)が発生し、しばらくの間一部のクラスの閉鎖、また保護者へは園児の登園を待機、又は自粛をお願いすることとなった。この経験を踏まえて、当年度は更に感染防止のためにできることを確実に実施し、関係者が感染しないように努力していかなければならない。

(2) 園舎の改築工事の実施

令和3年11月から、園舎の改築工事がスタートした。仮設園舎を別地に建設し、令和4年1月より仮設園舎で保育を開始。その後旧園舎を解体する工事を行い、同場所に新園舎を建設する工事を行う。引き続き、工事中は周辺住民の方々や、保護者の方々には多大の協力をお願いしなければならない。また、保育を行う場所が変わったことで様々な課題が生じたものの、今のところ大きな問題はなくスムーズに仮設園舎での保育を実施できている。引き続き、工事中の安全面含め十分配慮しながら事業を実施していくとともに、新園舎への移動もスムーズにできるよう入念に準備を進めていく。

(3) 保育士不足の問題

令和3年度末に退職が決まっている職員が正職員3名、非正職員3名と多く、代替りの職員の補充が急務であった。いろいろな求人機関への依頼や人伝手や新聞のチラシを利用した保育士の求人を根気強く実施してきた結果、令和4年度からは新たに5人の保育士を正職員として雇用することになった。約3分の1の保育士が入れ替わることになるため、園児が混乱しないように十分な引継ぎを行い、引き続き安全な保育に努めていく。

これらのことを注視しながら、長期的な展望にたって、事業に必要な財源を確保し、安定した運営(保育事業の維持)ができるようにしていかなければならない。また、研鑽を重ね日々の保育を、より質の高いものにしていきたいと考える。

2 保育に対する取組姿勢、並びに事業運営方針

「生きていくための基礎力」や、これから歩む人生で、「何よりも大切にして欲しいこと」を、わたしたちは、子どもたちと一緒に、学び、育んでいきたいと思っております。そして、子どもの安全を第一とし、次のようなこども像を期待し保育を行います。

◎優しく思いやりのある子 ◎へこたれず、がまんできる子 ◎大きな夢のある子

3 保育事業の骨子

(1) 通常の保育事業

保育標準時間 開所時間 7:00 ～ 18:00

保育短時間 開所時間 8:30 ～ 16:30

※日曜日、祝日、年始年末休(12/29-1/3)、年度末(2日)を除く平日に開所

(2) 特別保育事業

① 延長保育事業(補助金事業)

時間帯 18:00 ～ 19:00 /2名以上の職員を配置

② 短時間保育認定園児の延長保育事業(自主事業)

時間帯 7:00 ～ 8:30 及び 16:30～18:00

③ 一時預り事業(自主事業)

園児数に余裕のあるクラスに対して、利用者の要望に応じて実施。

4 4月当初の入所予定園児数

入所児数 定員60名に対し下記の見通し。

新入所児は6名の予定。

0歳児 3, 1歳児 6, 2歳児 15, 3歳児 15, 4歳児 18, 5歳児 14 合計 71

※5月からは1名増えて72名となる見込み

注 記:

- ・ 令和4年度は、入所児数の年間平均を72人未満にしなくてはならない。

(5年間連続で入所児数が利用定員の120%以上となった場合、委託費を10%カットされる。令和4年度はこれに該当するので、これを避けるため入所児数をおさえる。)

- ・ 近年は、保育士加配が必要な子、気になる子等が増加の傾向にある。そのような子に対する対応もしっかりと考えていく必要がある。

(参考:令和3年度の園児構成)

年度初 0歳児 3, 1歳児 15, 2歳児 13, 3歳児 19, 4歳児 14, 5歳児 11 合計 75

年度末 0歳児 5, 1歳児 15, 2歳児 13, 3歳児 19, 4歳児 14, 5歳児 11 合計 77

5 職員体制

(1) 園長 1 副園長 1 事務(兼:保育士) 1

主任保育士 1 保育士 14 保育補助 2 栄養士 1 調理員 2 合計 23

⇒ 内訳 正職員 14 (内 保育士10 栄養士1)

非正職員 9 (内 保育士5 保育補助2 調理員2)

(うち正職員保育士1名:令和4年3月より育児休業取得中)

(2) 園児の数、年齢構成に対し1日に必要な保育士数 9 人程度 (前年度末 10人)

(3) 保育士等の配置

5歳児(うめ組) 1名 4歳児(ひまわり組) 1名 3歳児(すみれ組) 1名

2歳児(もも組) 3名 0～1歳児(さくら組) 3名

6 事業実施のための予算計画

予算計画は別資料に示す。

7 特記事項

(1) 仮設園舎等での保育

これまでの園舎とは異なる環境の中で保育を行なうこととなるため、いろいろな観点から十分配慮して保育を行なっていく。

例：保育室の部屋の狭さ → 他保育室の利用、廊下の利用
園庭の遊び方 → 交代で使用
行事のやり方の見直し → 園舎、園庭にあわせたやり方

(2) 感染予防対策

園児、職員が密集・密接する環境ではあるが、やれる対策は、着実に実施して、感染防止を図る。できる範囲で密集・密接防止対策を行う。

- ① 登園時の園児の体温の確認
- ② 手洗い、うがいの徹底
- ③ 保育室の定期的な換気の実施
- ④ 玩具・遊具・保育備品の定期的な消毒の実施
- ⑤ 不特定多数の人が触る場所(ドアノブ等)の定期的な消毒実施
- ⑥ 保育園来園者の立ち入りの制限、並びに立入る場合の検温、消毒 等

(3) 保育活動

- ・ 上位の計画に基づいて下位の計画が策定され、園全体として同じ方向に向かって、保育が展開されるようにしていく。日々の活動や個々の行事がお互いに関連性を有し、1年を通してできるだけ連続性のある保育活動になるように計画する。(これまでと同様)
- ・ コロナ禍の中で、保護者参加の活動は、引き続き自粛しなければならないと考える。尚、子どもの園での様子は、毎日「きっずノート」等で保護者にお知らせし、こどもの成長している姿を伝えていく。
- ・ 主な年間、月間行事等は別紙-1に示す。

別紙-1省略

(4) 職員の保育技術レベルの維持、向上 等

- ・ コロナ禍の中で、令和3年度は、状況をみながら必要な研修(特に、職員の処遇と連動するキャリアアップ研修)に適宜参加させた。令和4年度も同様に対処していきたい。
- ・ 一方、園内の研修は例年並みの研修を計画していく。

特に力をいれたい内容(令和3年度に引き続き実施)

こどもと保育士のかかわりについて、各保育士が簡単なエピソードを書いて、他の保育士と話し合う研修。こどものキラキラ輝いている部分(成長しつつある部分、友達を思いやろうとしている部分等)を見つけてあげること、その際の保育士の声掛けは適切であったか、別のもっとよい方法はないかどうかを、皆で話し合う研修を行い、保育力の向上につなげていきたい。

8 当年度の園舎の改築の日程について

令和4年	4月	杭工事、通路足場組立 等
令和4年	5月	外構工事・電気設備工事・空調換気設備工事 開始
令和4年	6月	外部仕上工事・2階仕上工事・1階仕上工事 開始
令和4年	12月	諸検査、手直し 新園舎引き渡し(12/20予定) 新園舎への引越し作業(年末実施予定)
令和5年	1月	新園舎での保育 開始 仮設園舎解体工事
令和5年	2月	仮設園舎敷地復旧

以 上